

幼児の服装について(4)

東京女子高等師範學校教授

成田順

前二、三月號には袖・衿・胴の原型の裁方について記しましたが、本號に於ては具體的にロンバースについて其のこしらへ方を申し上げます。

ロンバース (Rompers)

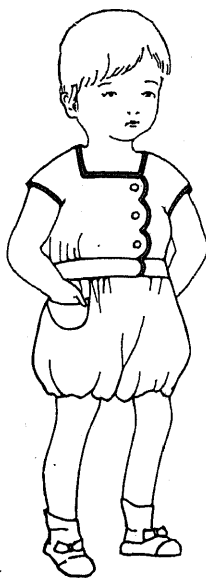
これは三四歳以下用のいたづら着として用ひます。上下續いて居て裾が兩脚に分れ、運動・動作に便利にこしらへたものであります。キモノスリーブ(身頃袖)袖續いて居るものにしても、別袖にしてもよろしい。又裾にゴムテープを入れて縮めても、口布をつけてもよいし、後明・前明・膝下明何れでも子供の服としてよいやうに考へるべきであります。

1、キモノスリーブで前及び跨明のもの

三歳用假定寸法

身長 八六センチ
胸圍 四八センチ

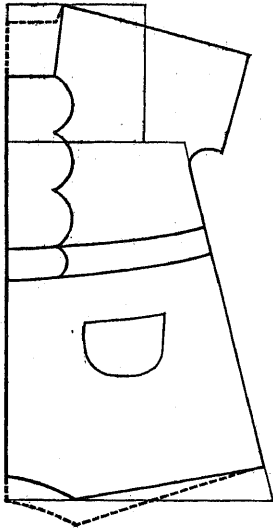
出來上り圖



1 型紙の裁方

- 1、丈 四三センチ(身長凡そ $\frac{1}{2}$)
- 2、衿ぐり、前後とも横に胸圍の $\frac{1}{10}$ を取る。前は縦に原型より二センチ下けて角型にくります。
- 3、ゆるみ 四センチ
- 4、肩下り 二センチ(胸圍 $\frac{1}{4}$ の $\frac{1}{6}$)
- 5、衿 二一センチ
- 6、裾幅 二四センチ(胸圍の $\frac{1}{2}$)其の $\frac{1}{4}$ を跨下き

型紙裁方圖



し34を裾口とします。跨下は二センチ程くり、脇で凡そ三センチ程上げます。なほ後は前より二センチ乃至四センチ程長くして、屈むのに便利にしておきます。

7、バンド・ポケット・前明の線等は形のよいやうに適宜に定めてよいと思ひます。これ迄一々説明しては類はしくもなり、讀みにくくもなり固定して面白くもなくなりません。

前は真直の線にして少しも差支へはないのですが多少裝飾の意味で形をつけたのです。

ポケットの口の大きさは凡そ胸圍の $\frac{1}{6}$ に致しま

す。

2 用布の種類

トブラルコ・ギンガム・絹ポプリン・富士絹等洗濯に耐え得るものを用ひます。

3 布の裁方

後身頃は裾口に二センチ跨下に一センチ脇に一センチ、袖口・衿ぐり等縁取りにする所は型紙其のまゝに裁ちます。

前身頃は型紙をバンドの中央から切り落し周圍に縫代を加へて裁ちます。

前の持出し布は四センチ程にし他は後身頃と同様に考へ縫代をつけて布を裁ちます。

4 仕立方

1、ポケット附

ポケットの形をこしらへ適當の位置において飾りミシンをかけます。

2、肩の袋縫

3、衿ぐり・前明の始末

- 左身頃は出来上り一・五センチの持出しになるやうに布を折つてミシンをかけます。次に衿ぐりミ右身頃の前明ミに續けて配合のよい斜布を、身頃の裏側に縫ひつけ表に返して飾りミシンをかけます。又表側に斜布をつけ他の端をまつりつけてもよろしい。
- 4、右身頃の上下接ぎ合せ

右身頃を上下縫ひ合せ縫代をかつておきます。

- 5、袖下・脇の袋縫

- 6、袖口の始末

衿下ミ同様に斜布で縁を取ります。

- 7、胯下の始末

前には出来上り幅二センチの見返し布を裏側につけ、後には二センチ幅の持出し布をつけます。持出し布は胯のくりに合せて裁たないミ落着きがわるいのであります。

- 8、裾口の始末

三つ折にしてミシンをかけ、ゴムテープを通して端をしつかり止めておきます。

- 9、バンド及びバンド通し

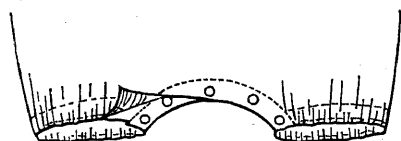
バンドの一方の先は丸みをつけ上に飾り釦を付けます。兩脇にバンド通しを作り一應着せて見てから適當の位置にスナップをつけます。

- 10、仕上げ

- 11、前明にスナップ及び飾り釦附

- 12、胯下に釦附及び穴かぶり

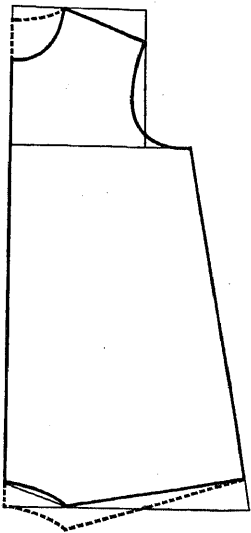
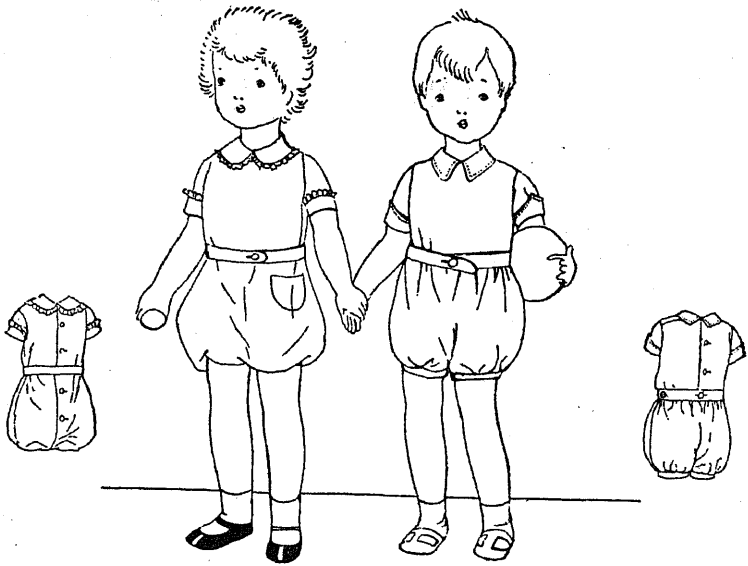
胯下に五个の釦をつけ、それに對する穴かぶりを致します。



- 2、別袖つけで後のあいて居るもの
- 胯下はスナップぎめにしてもよいのですが、はづれ易い所ですから兩端を釦ぎめミし中をスナップ留にするのがよいやうに思ひます。

次の二つは何れも袖附のあるものですが左の方のは後が全部あいて居り右の方のは後の上部だけ明いて居り下の方はバンドがついて後

出来上り圖



を下げるやうになつてをります。それ故右の方のは
 胯下を縫ひましたも不便ではありません。なほ裾に
 は口布がつけてあります。

四歳用假定寸法
 身長 九二センチ
 胸圍 五〇センチ

1 型紙の裁方

◎後が全部あいて居るもの(左の方)

身頃

- 1、丈 四六センチ(身長の $\frac{1}{2}$)
- 2、衿ぐり、胸圍 10
- 3、ゆるみ 四センチ
- 4、裾幅 二五センチ(胸圍の $\frac{1}{2}$)其の $\frac{1}{4}$ を胯下ミし

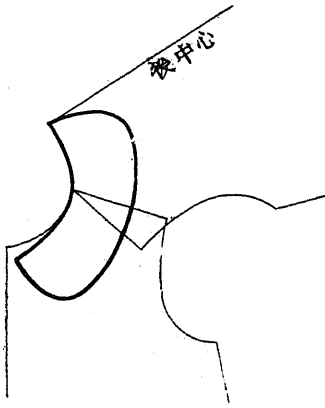
3/4を裾口にするこゝは前のこゝ同様であります。
 跨下は二センチ程くり、脇で凡そ三センチ程上げま
 す。

なほ後は前より少し長くして屈むのに便利にしてお
 くこゝも前こゝ同様です。

衿

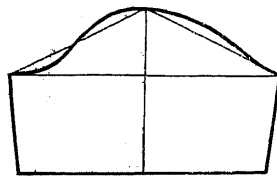
1、肩の重り 三センチ

2、衿幅 凡そ五センチ



1、袖 丈 一三センチ

2、山の高さ 袖ぐりの1/5
 3、斜線 袖ぐりの1/2
 4、袖口 二〇センチ



◎ツロースの後にバンドのある
 もの(前頁出来上り圖中右の方)
 身頃

1、丈 四六センチ(身長の

1/2)

2、衿ぐり 胸圍10

3、ゆるみ 四センチ

4、裾幅 一五センチ(胸圍の1/2) 其の1/4を跨下
 し3/4を裾口にするこゝは前のこゝ同様であります。
 跨下を二センチくり脇で凡そ三センチ程上げること
 も前こゝ同様です。

5、前脇の線

斜線其のまゝでゆるみが多すぎれば内側へ適當に
 ります。

6、後

ジロースの上を中央に於て、ウエストラインより三センチ程上にあげ幅に於てギャザーの分三センチ程廣くします。

衿、袖の裁方は前々略々同じであるが、衿は前後ともまゝるみがついてゐない。

2、用布の種類

前々同じです。冬向きには袖丈を長くしジャージの類もよいと思ひます。

3、布の裁方

後明に二センチの重りとなるやうに、持出し、見返しに分して五センチ、ジロースの後のはなれる方即ち右の方のは後の胴に重りの分七センチ程加へて裁ち、その他は適當に縫代を入れて裁ちます。

バンドの幅二センチ乃至二・五センチの出来上り。バンドの丈 胴廻りより重りの分(七センチ)を加へたもの。

カフスの幅 四センチ 丈凡そ二一センチ。

裾口布の幅一・五センチ 丈は股の太さ

4、仕立方

◎後が全部あいて居るもの(三五頁出来上り圖中の左の方)

1、ボケット附

2、後明の始末

3、肩及び脇の袋縫

4、袖

袖下を袋縫にし、襷を取つた飾り布を、袖口布の表裏で挟んで縫ひ、袖口布の表を袖の裏に合せて縫ひ、袖口布の裏の端を折り縫目にくけつけておく。

5、袖附

山のあたりは袖を稍々ゆるめに下の方は袖がゆるまないやうに注意してつけ、縫代は二枚一緒にかきつけておきます。斜布で縫代を包む人もありますけれどもかたくなつて却つてよくないと思ひます。

6、衿及び衿附

袖口と同様に衿の表裏で飾布を挟んで縫ひ、縫代を細く裁切り、表に返し身頃ミ斜布ミで衿を挟んでつ

け、斜布の端を折つて身頃にくけつつけます。前衿附に於て衿がゆるむきをかしいから特に注意を要します。

7、跨下の始末

前には出来上り幅二センチの見返し布を裏側につけ、後には二センチ幅の持出し布をつけます。持出し布は跨下のくりに合せて裁たないで落着きがよくありません。こゝは前のと同様です。

8、裾口の始末

三つ折にしてミシンをかけゴムテープを通じて端をしつかりさめておきます。

9、バンド及びバンド通し

10、仕上げ

11、釦附及び穴かぶり

◎ジロースの後にバンドのあるもの(三五頁出来上り圖右の方)

1、後明の始末

2、肩及び脇の袋縫

3、袖及び袖附

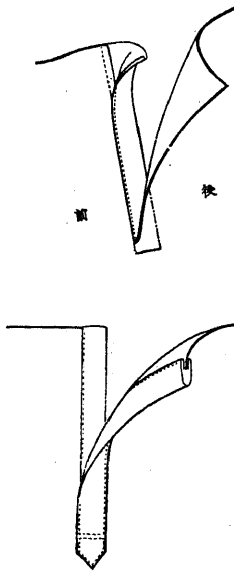
4、衿及び衿附

5、ジロースの脇下半分の袋縫

6、跨下袋縫

7、裾口を口布の寸法に縫縮めて口布をつける。

8、脇明に持出し見返しつけ



9、バンド附

ジロースの上を縫縮めてバンドをつけます。

10、仕上げ

11、釦附及び穴かぶり